

放映予定期間：
2017年1月下旬
～2月中旬



阪急電鉄株式会社・立命館大学映像学部 連携企画

第3回「ゆめ・まち・みらい」アート&コミュニケーション コンテスト

応募要項

「ゆめ・まち・みらい」アート&コミュニケーションコンテストは、梅田駅の大型デジタルサイネージ「梅田ツインビジョン」を制作発表の場とする映像コンテストです。

「梅田ツインビジョン」周辺は一日最大40万人を超える人の往来があります。みなさん自身がプロデュースした作品を通して、映像が社会にどのような影響を及ぼすのかを体感できる、貴重な学びの場です。是非この機会にチャレンジしてみてください。

ひとの心に残る創造性や発想力に富んだ多彩な作品の応募をお待ちしています。

○阪急電鉄からのメッセージ

第1回、第2回のコンテストにご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。

3度目となる今回もさらに多くの皆さんからの意欲的な応募を期待しています。

さて、「梅田ツインビジョン」は、梅田駅の中央コンコースに位置しており、毎日多くの方がご覧になります。これら一般の旅客公衆の方々目に触れることを十分に意識し、映像を見た人々の心を温かくしたり、活力や希望につながるような作品制作を心がけて下さい（審査の際はこうした視点も重視します）。

また、「梅田ツインビジョン」は、1基あたり約300インチの大画面を有しています。この大画面（32:9）の特長を活かした、ダイナミックな映像表現を期待しています。

I. 募集する映像作品

- ・ 15秒もしくは30秒の音なし映像作品
- ・ 画面サイズ、「32:9」の映像作品

※「32:9」の撮影・編集方法については、事務室にてマニュアルを配布します。

II. コンテスト・テーマ

「START」

* 作品中には、必ず「ゆめ・まち・みらい」の文字を使用してください（3秒以上）。



III. 応募資格

- ・ 立命館大学 映像学部生・研究科院生（学部1、2回生もふるってご応募ください）。
- ・ 個人、またはグループでの応募が可能です。ただし、代表者が映像学部生・研究科院生であることが必須です。複数エントリーも可です。

IV. 応募条件

応募作品については、締め切り日【2016年11月30日（水）17:00】までに映像学部事務室に提出してください。

① 作品はHD（32:9）で完成させ、データで提出してください。

* 撮影機材は映像学部保有の貸出機材を基本としていますが、スマートフォン、タブ

レット、デジタルカメラなどでも OK です。機器は問いません。

＊ **「32：9」の撮影・編集方法については、事務室にてマニュアルを配布します（必要な方のみ）。**

＊ 応募用紙（CAMPUS WEB もしくは、映像学部事務室にて配付しています）と共に提出してください。

＊ **提出後も、元データは必ず保存しておいてください。**

② 実写、CG、アニメーション等、表現手段は問いませんが、未発表のオリジナル作品に限ります。

③ **音声は入りません。スーパーは可。**

④ **15 秒もしくは 30 秒の映像の中で「ゆめ・まち・みらい」の文字を必ず使用してください（3 秒以上）。文字体・デザイン・表現方法は自由です。**

⑤ 「V.作品制作における注意事項」をしっかりと読み、制作してください。

【媒体概要】

梅田ツインビジョンは、300 インチの画面が 2 基並列しています。

画 面 仕 様：液晶マルチビジョン（55 型 横 6 面×縦 3 面＝18 面）×2 基

画 面 サ イ ズ：55V 型・18 面全面表示の場合：約 300 インチ（W7.3m×H2.1m）
（中央で分割表示の場合、約 165 インチ×2）×2 基

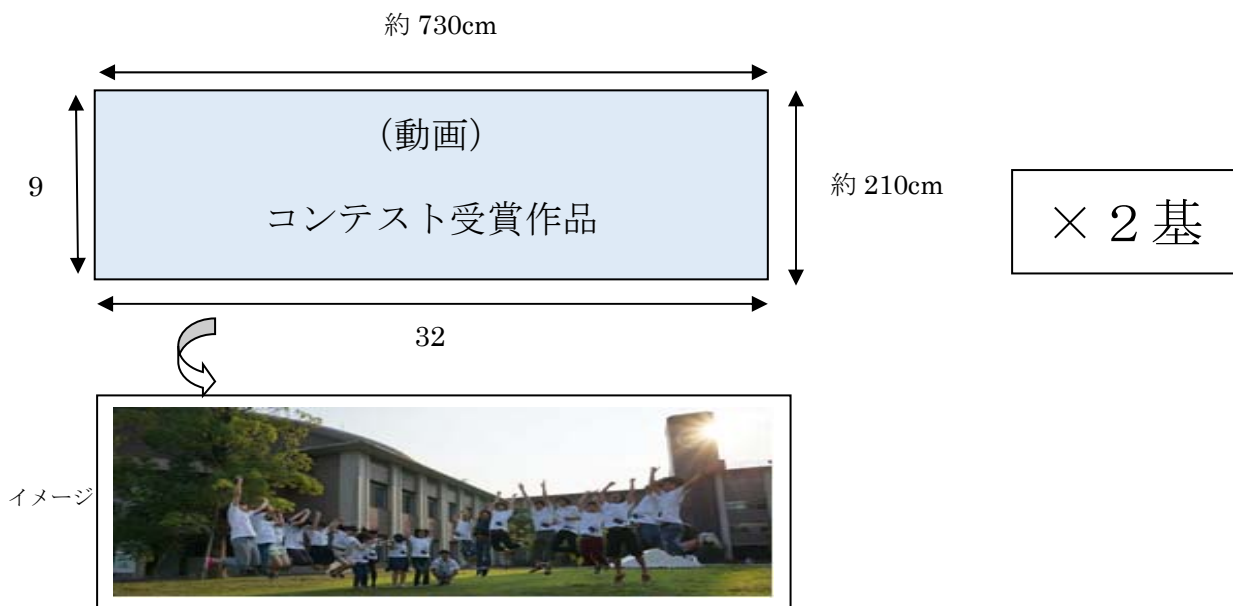
画 面 解 像 度：W3,840×H1,080 ピクセル（フル HD）

音 響 装 置：なし

表示可能コンテンツ：動画・静止画

設 置 場 所：阪急梅田駅 1 階中央コンコース

【放映イメージ（32:9）全画面表示】



V. 作品制作における注意事項

「基本的には許可なく撮影できる場所はない」ということを念頭におき、

所定の手続きを行ったうえで作品制作に取り組んでください。

事前に、機材取り扱い、および撮影現場での注意事項

「気をつけよう！あんなこと・こんなこと」を必ず確認の上、制作してください。

【梅田ツインビジョンで放映できない映像】

- ① **法律・条例等に抵触している作品。**公道や公共の場での撮影については、道路交通法をはじめ各種法律・条例に反していないか、必ず確認をしてから行ってください。
- ② **第三者の権利（著作権、肖像権、パブリシティ権など）を侵害する作品。**応募作品に第三者の著作物（美術品、映画、写真など）または肖像などが含まれる場合は、当該第三者から事前の承認を必ず得てください。
- ③ 暴力や残虐、猥褻他、公衆に恐怖や不快の念を抱かせる恐れのある内容、政治的、宗教的な主義、主張につながるとされる内容は不可（いわゆる公序良俗に反すると思われるものは不可）。
- ④ 実在の企業・団体、商品・サービス等の宣伝になるものは不可。ただし、阪急電鉄、立命館大学についてのものは可。また、架空のものは可。
- ⑤ 阪急電鉄の車内、駅構内での撮影は不可。ただし、風景として外部からの撮影は可。
- ⑥ 無人航空機（ドローン、ラジコン機等）での撮影は可ですが、平成 27 年 9 月に航空法の一部が改正され、平成 27 年 12 月 10 日から無人航空機の飛行ルールが新たに導入されています。航空法に定めるルールに違反した場合には、50 万円以下の罰金が科せられるなど法的処罰がありますので、必ず自身で国土交通省の定めるガイドラインを確認してから撮影を行ってください。他の肖像権や著作権同様、万が一トラブルが生じた場合、責任は皆さん自身が負うことになりますので十分注意をして使用してください。

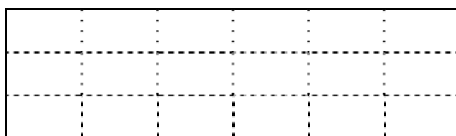
*** 上記以外でも阪急電鉄の広告掲載基準等により、放映ができないと判断される場合もあります。**

- * テーマにふさわしくない表現が含まれるもの
- * 阪急電鉄やそのグループ会社のイメージを毀損するもの
- * その他、当コンテストの趣旨から不適当と認められるもの

【撮影・制作・編集時における注意事項】

- ⑦ **学内・学外での撮影場所については、事前に撮影許可が必要です。**
撮影に関わってキャンパス内施設（教室等）を利用する場合には、事前に事務室に撮影届出を行ってください。
- ⑧ 撮影機材は、映像学部保有の貸し出し機材を基本としていますが、スマートフォン、タブレット、デジタルカメラなどでも OK です。機器は問いませんが、**高画質での設定をしたうえで撮影をしてください。**
- ⑨ 15 秒もしくは 30 秒の映像の中で「ゆめ・まち・みらい」の文字を必ず 3 秒以上使用してください。文字体・デザイン・表現方法は自由です。
- ⑩ **カメラフレームの端（キワ）は、編集時に切れてしまう可能性があります。**
特に、スーパー（テロップ）は切れやすく、また、ディスプレイのフレームの合わせ目に文字がかかると読みにくくなる場合があります。文字を入れる際は合わせ目を避け、色や大きさ（フォントは大きめ）に注意して下さい。

（画面イメージ）



* 点線部分は、フレームの合わせ目になります。

* 文字を入れる際には、フォントや色に注意してください。

- ⑪ 阪急電鉄(株)のオフィシャル・ロゴは、使用できません。

⑫ 応募作品は、**HD (32 : 9) で完成させ、データで提出してください。**

＊ ブルーレイはNGです。

⑬ 書き出し（最終変換）フォーマットは、**【形式：WMV、フレームレート：30、フィールドオーダー：プログレッシブ】**です。

⑭ 応募者は、**【2016 年 11 月 30 日（水）17 : 00 まで】に①完成作品データ、②応募用紙の 2 点を映像学部事務室に提出**してください。

＊ 完成作品データについてはUSB メモリ、ハードディスク、HD 等にいれて事務室に提出してください。事務室にてデータをコピーした後、メディアは返却します。

【提出後の注意事項】

⑮ 応募作品の提出後も**編集データは削除しないように**注意してください。

⑯ 提出データのファイル名として**【学生証番号・氏名】**を明記してください。

「(例) 191115*****_映像太郎」。

【応募作品の取り扱いについて】

- ・ 放映候補として選ばれた作品は、放映用フォーマットに大学側で変換します。
- ・ 提出された作品は、映像学部の教学・広報活動に使用する場合があります。
- ・ 放映候補作品については、撮影場所や被写体について制作者に確認をする場合があります。連絡が取れない場合には、放映候補作品から外れる可能性がありますので注意してください。

VI. 応募費用

- ・ 無料。＊ただし、制作に関わる費用は自己負担となります。

VII. 応募方法

【応募の流れ】 エントリーシート提出 → 作品・応募用紙提出

① 2016 年 11 月 25 日（金）17:00 までにエントリーシートを映像学部事務室に提出。

② 2016 年 11 月 30 日（水）17:00 までに作品データ・応募用紙を映像学部事務室に提出。

＊エントリーシート、応募用紙ともに CAMPUS WEB よりダウンロードして下さい。

VIII. 応募期間・スケジュール ＊提出先は、映像学部事務室。

① 作品提出期間：2016 年 7 月 15 日（金）～2016 年 11 月 30 日（水）17 : 00 まで

③ 学内選考会&上映会（応募者は参加必須）：

2016 年 12 月中に開催予定です。

＊作品提出時にご案内しますので、応募者の方はご予定ください。

＊会場：充光館 301（予定）

④ 最終選考・結果発表

1 月中旬予定

⑤ 放映予定

2017 年 1 月下旬～2 月中旬（変更になる場合があります）

IX. 審査概要

審査は、一次審査（学内選考）と二次審査（最終選考）を行います。一次審査は、応募要項の「IV. 応募条件」及び「V. 作品制作における注意事項」に記載している内容を満たしていることが基本的な審査基準です。

放映作品については、一次審査を通過した作品の中から二次審査において決定します。

また、審査にあたっては映像制作に関する専門的な技術だけではなく、下記の項目を重視し、高く評価されたものを優秀作品として選出します。

A) オリジナリティ

- ・ 作品の表現に創意工夫はあるか。
- ・ （過去に観たようなことのある映像ではなく）オリジナリティを感じることができる作品か。

B) メッセージ性

- ・ 「伝えたいこと」が明確であるか。

C) クオリティ

- ・ 公共空間において他者に観せる作品として、細部にまでこだわって完成された作品であるか。
- ・ 優秀作品には、阪急電鉄より以下の各賞に研究奨励金が授与されます（ただし審査の結果により、該当作品なしとなる場合もあります）。

グランプリ：10 万円（1 作品）

準グランプリ：5 万円（1 作品）

佳作：各 2 万円（若干数）

X. 問い合わせ先

立命館大学映像学部事務室 TEL：075-465-1990